

済生会川内病院
広報にじ

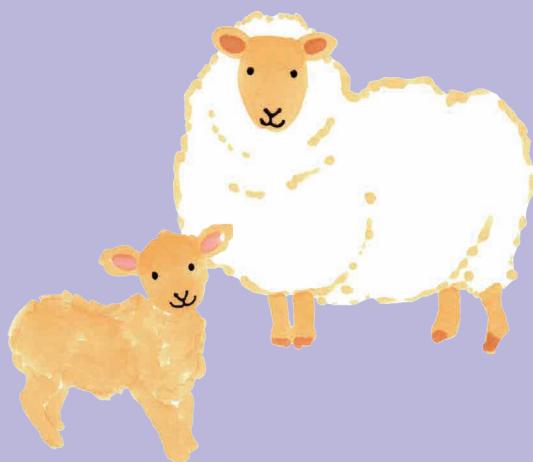
vol. 76

2026/09
TAKE FREE

niji

CONTENTS

- 02 SPECIAL FEATURE
副院長就任あいさつ
事務長就任あいさつ
看護部長就任あいさつ
- 05 わたしのおしごと
皮膚・排泄ケア認定看護師
- 06 ちょっと教えて！・新任Dr.紹介・元気のもと
- 07 信頼と連携の輪
- 08 無料又は低額診療事業のご案内



Inaugural Message



副院長 宇都 正
Tadashi Uto

このたび、令和8年4月より副院長を拝命いたしました。身の引き締まる
思いとともに、地域の皆様に信頼される病院づくりに尽力してまいります。

私は平成29年(2017年)7月に当院へ赴任し、糖尿病内科医として地域
の皆様の診療に携わってまいりました。自科での糖尿病診療に加え、手術前
後やがん薬物療法中の血糖管理などでは他の診療科と連携し、安全で質の
高い医療の提供に努めています。最近では認知症などによりご自身でイン
スリン注射を継続することが難しい患者さんと接する機会も多く、地域の
高齢化が医療や介護に与える影響を日々実感しています。病気だけでなく
患者さんの生活の全体像を見据え、多職種や地域の医療機関・介護施設と
の連携を一層深めていくことが重要であると考えています。

診療と並行して、医療安全や原子力災害対策の業務にも携わっています。
医療安全は患者さんと医療者との信頼関係の礎であり、安心して医療を受
けていただくために欠かすことのできない取り組みです。また、原子力災害
拠点病院としての役割を果たすため、平時からの備えや訓練の充実にも力
を注いでいます。

これからも職員一人ひとりが力を合わせ、安全で質の高い医療を提供す
るとともに、地域の皆様に安心と信頼をお届けできる病院を目指してまい
ります。今後とも温かいご支援、ご指導を賜りますよう、よろしくお願い申
し上げます。

SPECIAL FEATURE 特集

副院長就任あいさつ

2026年4月より、済生会川内病院の事務長を拝命いたしました宿口英俊でございます。

日頃より当院をご利用いただいている患者様やご家族の皆様、そして当院の運営を力強く支えてくださっている地域医療連携機関や関係各所の皆様に、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

病院という場所は、患者様にとって病気への不安や診察への緊張が伴う場でもあります。私共が提供する医療やサービスを通じて、皆様の心少しでも安心を届けることができればと考えております。この広報誌「niji（にじ）」も、皆様にとって有益な医療情報をお届けするだけでなく、当院をより身近に感じていただき、お気持ちを和らげる一助となれば幸いです。

事務長としての私の役割は、病院運営に携わる全職員が、それぞれの専門性を最大限に発揮し、地域の皆様に安心・安全で質の高い医療を提供できる環境を整えることにあります。済生会の創立の精神である「施薬救療（せやくきゅうりょう）」の心を常に胸に刻み、地域に深く根ざし、どなたからも末永く信頼していただける病院づくりに邁進してまいります。

医療を取り巻く環境は日々変化しておりますが、常に「患者様の視点」を最優先に考え、職員一同が丸となってサービスの向上と病院運営の充実に努めてまいります。今後とも、皆様の変わらぬご指導とご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

Inaugural Message



事務長 宿口 英俊
Hidetoshi Yadoguchi

SPECIAL FEATURE 特集

事務長就任あいさつ

Inaugural Message



看護部長 佐多 博美
Hiromi Sata

このたび、4月より看護部長を拝命いたしました。

2026年は、60年に一度巡る「丙午（ひのえうま）」の年であり、情熱や変化、新たな挑戦を象徴するといわれています。私にとっても、看護部長という新たな役割を担う節目の年となりました。

私が入職した頃には、人材不足の深刻化や医療DXの急速な進展は想像もしていませんでした。医療を取り巻く環境が大きく変化する中、一人ひとりの柔軟な発想とチャレンジ精神を大切にしながら、質の高い看護の提供に努めてまいります。

新人時代から多くの先輩方の温かいご指導と、同僚や家族の支えに恵まれ、今日まで歩んできてことができました。これまで支えてくださった皆様に心より感謝申し上げます。

済生会の「施薬救療」の精神のもと、歴代の看護部長が築いてこられた伝統を大切に継承しながら、新しい仕組みや考え方も柔軟に取り入れ、看護部のさらなる発展を目指してまいります。

当院は、健診・予防医療から周産期医療、救急医療、終末期医療まで、人生のさまざまな場面で患者さんとご家族に寄り添い、医療と福祉が連携した切れ目のないサービスを提供しています。「保健・医療・福祉を通じて地域社会に貢献します」という理念のもと、患者さん中心の医療を実践し、「この病院でよかった」「ここで働けてよかった」と感じていただける病院を目指して、地域社会への貢献に努めてまいります。

今後とも、ご指導、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

SPECIAL FEATURE 特集

看護部長就任あいさつ

わたしのおしごと

皮膚・排泄ケア認定看護師

神 菌 由 佳

院内の様々なお仕事についてご紹介するコーナー。第九回は、皮膚・排泄ケア認定看護師・神菌さんです。



神 菌 由 佳

80代の両親との3人暮らし、両親の『美味しい』を聞くために、台所で試行錯誤しています。

あなたの仕事内容について教えてください。

皮膚・排泄ケア認定看護師として、標準的なケアで解決できないストーマトラブルや褥瘡(床ずれ)、失禁などの皮膚障害を抱える患者さんの看護を行っています。また認定看護師には「実践・指導・相談」の役割があり、院内だけではなく地域の医療機関や介護施設、訪問看護ステーションとも連携しながら活動しています。

仕事をする上で、心がけていることは何ですか？

患者さんの安全・安楽です、そして快適な生活を支えることです。排泄や皮膚は、健やかな日常生活を送るために欠かせない大切な機能です。一人ひとりの思いや背景に寄り添いながら、その人らしい生活を続けられるよう支援することを心がけています。

仕事にやりがいを感じるのはどんな時ですか？

ストーマ外来で困りごとが解決し、不安そうだった患者さん・ご家族の表情が安堵に変わり、問題解決できたときの自信に満ちた表情は私の宝物です。ストーマを造設される患者さんは、「もう、どこにも行けないね」「周りの人に迷惑かけるかも」と大きな不安を抱えて退院されることも少なくありません。ストーマ外来開設当初、排泄経路の変更による多様なお悩みに十分応えられず悩む日々でしたが、15年間、多くの患者さんと向き合う中で、一緒に解決する方法を見つける力を育てていただきました。「買い物に行ってみる」から始まり、「職場復帰した」「旅行に行ってくる」「飛行機に乗るときはどうすればいいかな」を聞いたら万々歳です!!

今後の目標を教えてください。

医療制度の変化により、在宅での褥瘡・ストーマケアにも携われるようになりました。これからも学び続けながら活動の場所を広げ、病院内だけではなく地域でも、看護の力で患者さんの生活を支えられる認定看護師を目指したいと思っています。



ち
よ
つ
と

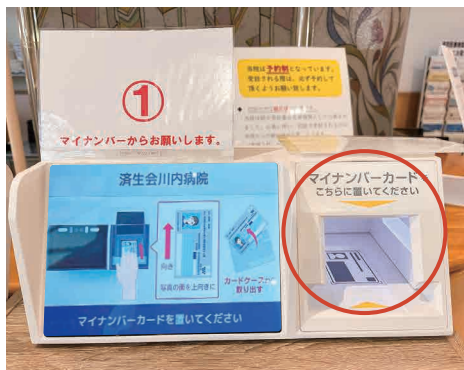
教えて！



マイナンバーカードでの受付方法を教えてください。



受付に設置されているカードリーダーで受付が出来ます。
ご利用の流れは次の通りです。



STEP 1

マイナンバーカードの表を上にしてセットし、本人確認の手続きをします。

STEP 2

認証出来たら、受付も完了し、受付票が印刷されます。



マイナンバーカードを利用していただくことで、保険証確認が不要となり、受付での待ち時間短縮につながります。
ご不明な点がございましたら、スタッフへお声がけください。

10年目の堀川です。久しぶりの一般小児診療となります。迷惑をおかけするかもしれませんが、よろしく願います。



ほりかわ しょうご
堀川 翔伍

小児科

趣味/特技

サッカー観戦



大原師長

遠い昔、つわりで辛かった時
母親が作ってくれた小豆煮です。
この量にどれだけ砂糖が
入っているのかは考えず、
今でも実家から
貰ってきています。



泌尿器科・小児泌尿器科
川越先生

「みかん、Love」
冬には、阿久根に
ポンタンを
買いに行きます。

スタッフの笑顔と元気を支える一品
をご紹介するコーナー。第十四回は川
越先生と大原師長です。

わたしの
元気の
のモト

信頼と連携の輪

地域医療を支える連携医療機関をご紹介します。



川野眼科

当院は1958年開業の眼科有床診療所です。コンタクトレンズを含めた一般的な眼科診療に加え、白内障・緑内障・眼瞼下垂・霰粒腫・鼻涙管狭窄などに対する眼科手術、糖尿病網膜症や網膜裂孔などに対するレーザー治療、加齢黄斑変性などに対する抗VEGF薬治療などを行っています。特に翼状片手術については、2012年に米国学会で発表、英語論文としても報告しています。川野浩輝院長と川野晃嗣医師の2人体制で、鹿児島大学病院や鹿児島市立病院との病診連携を図っており、網膜硝子体疾患や神経眼科・斜視弱視の専門外来医の受診も可能です。高齢者・小児等の全身麻酔にも対応しております。



院長
川野 浩輝 先生



川野眼科

TEL : 0996-23-3336
〒895-0023 薩摩川内市横馬場町6-3
<https://www.kawano-eye.jp/>
■ 診療科目 眼科
■ 診療時間
【月・水・金曜】 (午前) 9:00 ~ 12:00
(午後) 14:00 ~ 17:00
【火・木・土曜】 (午前) 9:00 ~ 12:00
■ 休診日 日曜・祝日

ファミリーHP 薩摩

当院は、急性期から慢性期、認知症医療まで切れ目のない精神科医療を提供しています。

外来では、こころの不調や認知症に関するご相談をはじめ、専門スタッフによるカウンセリングや精神科デイケアを実施し、患者様一人ひとりの状態や生活背景に応じた支援を行っています。入院治療では、安心して療養できる環境のもと、多職種が連携し、焦らずじっくりと治療に取り組める体制を整えており、退院後の地域生活や社会復帰まで継続してサポートしております。これからも、地域の医療機関や介護・福祉施設、行政との連携を大切にし、地域の皆様に安心してご相談いただける「あたたかなファミリーのような病院」を目指してまいります。



理事長
村上 芽梨 先生



ファミリーHP 薩摩

TEL : 0996-26-2211
〒899-1921 薩摩川内市水引町3247-1
<https://www.fh-satsuma.jp/>
■ 診療科目 心療内科・内科
■ 診療時間
【月～土】 9:00 ~ 17:00
■ 休診日 日曜・祝祭日

無料又は低額診療事業のご案内

無料又は低額診療事業とは、経済的な理由により、適切な医療を受けられない人々に対して、できるだけその経済的負担を軽減して適切な医療を提供することを主たる目的とする事業です。

○対象になる可能性がある方

- ・収入が少ないなど、経済的理由により医療費の支払いが困難な方
- ・限度額適用・標準負担額減額認定証の適用区分が「区分Ⅰ」「区分Ⅱ」「オ」の方

Q & A

Q 対象となる医療費はどのようなものですか？

- A 済生会川内病院での医療費のみが対象となります。他医療機関での医療費には適応されません。

Q 院外調剤薬局でも無料又は低額診療事業を利用できますか？

- A 院内での医療費のみが対象となるので、院外調剤薬局では利用できません。

Q 入院中の個室料や食事代など自費分については対象になりますか？

- A 健康保険の使える医療費が対象となるので、入院中の個室料や食事代などの自費分は対象となりません。

Q 経済的に厳しいのですが、無料・低額診療事業が適用されなかった場合には診療は受けられないのですか？

- A 適用されなかった場合でも、診療は受けられます。その場合は、通常の医療費が発生します。分割での支払いをご希望の方は御相談下さい。

Q 無料・低額診療事業を利用する際の手続きはどうすればよいのですか？

- A 無料・低額診療事業の利用希望の方は、担当相談員が面談を行います。利用には、所定の申請手続きが必要です。1階健康福祉課へご相談下さい。

ご利用に際しては、収入などの一定条件がありますので、収入の分かる書類を提出して頂くことになります。



担当窓口：健康福祉課（1階） 担当者：医療ソーシャルワーカー
電話：0996-23-5221（代表）内線3161、0996-22-8921（直通）
受付時間：【平日】9：00～16：30 【第2・4土曜日】9：00～12：00

理念 私達は、保健・医療・福祉を通じて地域社会に貢献します。

基本方針

1. 患者さんの尊厳と権利を常に尊重します。
2. 医療情報の開示と懇切な説明による開かれた医療を実践します。
3. 私たちは常に研鑽し、患者さん本意の、良質で安全な医療を目指します。
4. 公的中核病院として、地域の先生方と協力し、救急医療と高度の専門医療の推進に努めます。
5. 職員の協調と信頼によって、チーム医療の充実の充実に努め、働きがいのある職場を作ります。

niji

済生会川内病院広報誌
第76号 2026年9月1日発行



社会福祉法人
思贈財団

済生会川内病院

ホームページ▶



nijiへのご意見・ご感想▶



〒895-0074 鹿児島県薩摩川内市原田町2番46号 TEL (0996) 23-5221 FAX (0996) 23-9797
<https://www.saiseikai-sendai.jp> mail : info@saiseikai-sendai.jp